

伊勢市地域審議会会議概要
(平成 26 年度 第 1 回二見地区地域審議会)

1. 日 時 平成 26 年 7 月 15 日 (火)
2. 場 所 二見総合支所 3 階 第 2 会議室
3. 会議内容 ①委嘱状交付
②正副会長の選出
③その他
4. 出席委員 松本徳男委員、山本貞夫委員、濱口憲敏委員、松本誠委員、
奥野雅則委員、中村恒委員、北井伸治委員、北村峯記委員、
酒徳孝委員、加藤正彦委員、松原孝次委員、松本昌純委員、
濱條幸久委員
5. 欠席委員 橋本清美委員
6. 出席職員 二見総合支所長、係
7. 傍聴人 0 名
8. 内容 (概要)
 - ・ 委嘱状交付、二見総合支所長挨拶
 - ・ 委員自己紹介
 - ・ 会長及び副会長の選出について
委員からの提案により、次のとおり決定
会 長： 奥野雅則 委員
副会長： 松本昌純 委員

【会長挨拶】

この第 5 期で最後となるので、皆様の忌憚のない意見を聞かせていただき、これからの新しい伊勢市のあり方、その中において二見はどのような地域あるいは役割を果たしていくのかということ、地域審議会がなくなると二見町一本で上に意見をあげていくということがなくなるので、その点を皆さんのほうから沢山意見を出していただきたい。

- ・地域審議会の役割、会議等について
(事務局)

資料に基づき、地域審議会の規程を事務局より説明

【今後の会議の見通し】

第5期で合併10年を迎え、まだ未確定ではあるがおそらく次の3点について地域審議会で審議いただくことになる。

- (1) 合併特例債が新市建設計画に基づいて合併から10年間、起債できるとなっているが、この期間が5年間延長し、15年間合併特例債を受けられることになった。それに伴う新市建設計画の延長に対する諮問及び意見聴取
- (2) 合併10年のひとつの区切りとして、総合支所のあり方について
- (3) 合併調整項目の中で、唯一10年間据え置いている下水道受益者負担金について

(会長)

今の3つの事項について市から会議を召集する予定とのことだが、合併から10年を迎えるということで、合併後、日常生活の中で、思っていたのと違うとか、合併したときはこんなはずじゃなかったのにとということが、結構あるかと思うので、そういう意見を是非ともここで拾い上げていきたい。

今すぐにその話をしても、なかなか出ないと思うので、次回の会議までの間にそのことを考えていただいて、その場で集約させていただきたい。

- ・その他
(事務局)

口座振込み、報酬について事務局より説明

【意見交換】

(会長)

地域審議会の規程で、市からの諮問がなくても会議を開催して意見を述べることができる。勉強会といってもどういうテーマでやっていくかというところがあるが、市からの諮問がなくても報酬をもらいたくてやっているわけではないので、不満とかおかしいなと思うところがあれば全部ここでひろってほしいと思っている。

事前に副会長と話していた中で、いろいろ思うところもあるので、会長・副会長だから黙っているというわけではなくて、思ったことはどんどんこの場でお話させていただきたい。また、それを皆さんに諮らせていただいて、ご意見をうかがって、まとめたものを市へあげさせていただく形をとりたいと思っているので協力をお願いしたい。

秋口あたりで先ほど申し上げたようなことで、合併後の不満などあれば書き出して持ち寄るような会議を開催したいと思う。

(委員)

せっかく会長、副会長の思いがあるようなので、次回るときまでに我々も考えるが、せっかく集まったので今日話せるところをお聞かせもらいたい。

(副会長)

合併して、職員のサービスはどうかという部分で、今まで手厚く面倒をみてくれていたところが随分薄くなった。何か言ってもなかなか取り次いでもらえない部分もあるのでは。

例にとってみれば、音無山の林地、環境林というような感覚で私たちはしていきたい。でも観光になるかならないかで観光にはならない。そしたらどうやってあの山を保存とか守っていく、あるいはある意味ではこれからの地域を振興しようというところで、伊勢市はどう考えてくれているのかというところを、自分は聞きたいので、話をしていかなければと思っている。

皆さん、地域から選出されたような形で各字から出ていると思うが、自分は今一色で、じゃあ今一色の地域振興は今からどうなるのかと思うと、昔はあれだけの小さい在所に1000人以上住んでいるというのはやっぱり魅力があってみんながあそこに寄ってきた。その魅力は何かといたら豊かな自然に恵まれた地域で、ちょっと海へ出れば簡単におかずが取れた。こんな良いとこないということでみんなが住まいにするようになったような気もする。

あるいは、住む上では、生活するためのきれいな水がいる。確かに井戸を掘れば、私らのところは塩分も何もない飲み水が沸いてくる。それだと宮川や五十鈴川の湧水があるということ。そんな今一色という地域を今後どういう風に発展させていくんだというところで考えると、伊勢市は何か考えてくれているのかという気はする。今は地域が事を起こして自分たちでやって足りない部分を行政にちょっと手助けしてくださいという、これが基本的な姿勢でこれは苦にしなはいとは思いますが、それを言っていかなかったらどうなる？という部分がある。

その地域ごとで一生懸命犠牲をはらってやっているまちづくりの会の皆さんが、本当に自分の仕事をほってやっている状態、そうやって地域を守っているということを知ってくれているのか。

未来会議が今一色も二見もあって、いろいろな委員会があるが、自分の時間を割いてやっているというところを本当に見てくれているのかというところを掘り下げていきたい。

音無山に関しては、特に今一色なので関係はないが、「さくらまつり」を含め、まちづくりの中の音無山ということで、ソメイヨシノは100年が寿命となっている。今枯れかかっているところが、ちょうど100年経ってきているかと思

うが、今植えなかったら100年先の子供たちはあんな立派な桜を見ることがないかと思うと、やっぱり植えていくべきだという気持ちを持って、年5本~10本植えさせてもらっている。その努力というか、そんなことをやっているのも理解しているのかと思う。

管理は農林課だが、農林課では人工的に植えるのが良くないと言う。でも地域振興はみなさんが大事にしてきれいな桜が咲いてそこへ人が寄ってきて、そんな良いことはないという言い方。

いわゆる行政の縦割りで、横との調整が難しいということが現実に目の当たりにしている。

ほかに子供のこと、保育園のこと、あるいは老人介護、福祉のことは私以外の人が今まではこうやったけどこうゆうところが減った、無くなったというようなところをこれからは是非言って欲しいと思う。

真剣で固い感じのする会議だが、くだけた感じでこれから1年9ヶ月ほど、自分たちの地域でおきている困ったこと、良かったことをどんどん発言して行って、情報交換の場にしたいと考えている。

(委員)

昨年、今一色もまちづくり会議が立ち上がり、今年二見学区が立ち上がったが、自分はなんで一本でいかないのかという気持ちがある。

二見町はこれまで何をやるにしても全部一本でやってきたものを、なんでこのまちづくりだけ学区でわけたのかと思う。担当部署へ話をしたが、24学区で作ると行政で決まったことだからということで押し切られた。

そうではなく、もっと話し合いを深めて、本来であれば今まで何をやるにしても二見町でやってきたのだから二見一本でいくべきではないかと思う。

小俣町が明野と小俣とあって、今一本でやっているのだから、できるということ。やるなら二見一本でいって欲しかった。そうすれば、小学校は今別々だが、中学校になれば一緒になって、その時に小学校の時から色んな面で今一色と二見が交流を持つことで中学校になってからでも仲良くできると思う。色んなことを考えながらまちづくりを作っていかなければと自分は思う。

地域審議会はまちづくりの会が出来たのだからなくなると思っていた。これからはまちづくりが主体となって二見学区と今一色学区をきちんとやっていくのが二見町のまちづくりだと私は考えていたのだが、そうではなくまた地域審議会も今日から出来上がった。今一色のまちづくり、二見のまちづくり、それから今日設立した地域審議会、この3つを分野をきちんとして地域審議会はこういうことを主に取り組んでいくんだと、市へいろいろな注文を出したりして二見町を良くしていくんだと、まちづくりは二見町の町を作っていくんだと自分はそう思う。これから皆さんと一緒になって本当にどういくのが一番地域審議

会にとって良いのか、まちづくりにとっても良いのかそれをみんなで決めていけないといけないと思う。先ほど会長が言われたように報酬が欲しくてやっているわけではなくほとんどボランティアでやっている、そういう面も含めこの地域審議会の役割は二見町全体の一番大事な部分だと思っている。会長、副会長には、これからリーダーとして私たちを引っ張って行っていただきたいのでよろしくをお願いしたい。

(会長)

今の話で、まちづくり会議についてはまだ立ち上がったばかりなので先が見えないところがあるが、この地域審議会については28年3月で多分終わりになってしまう。ここで打てるところは打っておかないと二見町全体として諮れる場が本当になくなってしまいうということがあるので、この1年9ヶ月は非常に重要な時期だと思っている。

先日、市役所の市長室での辞令交付式へ出席し、小俣・御菌の各代表の方とも話をしたが、総合支所のあり方というところで、どうも本庁一括管理の方向へ持っていかれそうなどところがある。各総合支所に関して言うと、もう少しそこは拡充してもらわないと、なかなか本庁まで行ってというのはきついという話がよその地域からもあったし、二見も同じと思う。

小俣では、本庁との結びつきが希薄になって、東豊浜町や上地町とのつながりが強くなってくるので、そういうところにある小さい支所を廃止してでも総合支所は残して充実した機能を持たしていけないといけないという話が出ているようだが、それは二見も一緒なので、そのところを真剣に議論していきたい。

私は観光に携わっている部分もあるので、委嘱状交付の時に市長室で、小俣・御菌の地域振興課と二見の地域振興課では役割が全然違うはずだという話をした。二見は地域振興課に係る負担が大きい。私自身が色んなまちづくりのイベントに関わる中で、ある程度事務局として行政が担ってもらわないと町民だけのボランティアではどうしても限界がある。そのあり方は他の地域振興課とは違うんだというところ、それは他の地域の方も市長も理解していたので、そこを行政のルールに乗っかって縮小されていかないように歯止めをかけていきたいと私は個人的に思う。

最初に地域審議会を立ち上げて、何かテーマはないかというときに、二見は観光があるので、観光を取り上げてはどうかというたたき台を作った覚えがある。もう一回それを見なおして、今までの経緯の中でどれだけ変わってきているのかを検証させていく予定をしている。

・閉会